

漁業法（昭和24年法律第267号）第58条において読み替えて準用する同法第42条第1項の規定に基づき、及び同項の規定を実施するため、青森県漁業調整規則（令和2年青森県規則第59号。以下「規則」という。）第4条第1項第11号に掲げる光力利用敷網漁業につき、規則第11条第1項各号に掲げる制限措置の内容及び許可又は起業の認可を申請すべき期間等を次のように定める。

令和3年12月24日

青森県知事 三村 申吾

1 許可又は起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数その他の制限措置

漁業種類	許可又は起業の認可をすべき船舶等の数	船舶の総トン数	推進機関の馬力数	操業区域	漁業時期	漁業を営む者の資格	許可又は起業の認可を申請すべき期間	備考
やりいか光力利用敷網漁業	20隻	定めなし	定めなし	1 西共第23号及び第24号共同漁業権漁場の区域のうち、次の（1）及び（2）の海域 （1）北津軽郡中泊町小泊港東防波堤突端の青燈台と竜飛崎とを結んだ直線以東の海域 （2）北津軽郡中泊町白岩崎から磁針方位201度の直線と、同町仏崎から磁針方位215度の直線によってはさまれた海域	2月1日から5月31日まで	北津軽郡中泊町大字小泊（字下前及び字淵岩を除く）に住所を有する者	令和3年12月24日から令和4年1月14日まで	1 許可の有効期間は、令和4年2月1日から令和4年5月31日までとする。 2 規則第14条第1項第4号の対象とする。 3 次に掲げる内容の条件を付けることがある。 （1）集魚灯に使用する光力の総和は12キロワット以下とすること。 （2）水中灯及び水銀灯を使用しないこと。 （3）定置漁業または小型定置漁業の操業中は、その前面及び後面それぞれ300メートル以内、沖合100メートル以内の各海域で操業しないこと。 （4）機関室の両側面を赤色ペイントで塗装し、許可番号を黒色ペイントで表示すること。
	11隻			北津軽郡中泊町大字小泊字下前又は字淵岩に住所を有する者				
	16隻			青森県日本海沖合海域。ただし、西共第17号及び第18号共同漁業権漁場の区域以外の共同漁業権漁場の区域を除く。	西津軽郡鰯ヶ沢町又はつがる市木造出来島に住所を有する者			
	8隻			青森県日本海沖合海域。ただし、西共第9号、第10号、第13号及び第14号並びに久共第1号及び第2号共同漁業権漁場の区域以外の共同漁業権漁場の区域を除く。	西津軽郡深浦町大字北金ヶ沢又は大字田野沢に住所を有する者			

ア 北緯40度31分85、東経139度28分23

							イ 北緯 40 度 31 分 60、東経 139 度 28 分 23 ウ 北緯 40 度 31 分 60、東経 139 度 28 分 77 エ 北緯 40 度 31 分 85、東経 139 度 28 分 77
	2 隻		青森県日本海沖合海域。ただし、西共第 11 号及び第 12 号並びに久共第 1 号及び第 2 号共同漁業権漁場の区域以外の共同漁業権漁場の区域を除く。	2 月 1 日から 5 月 15 日まで	西津軽郡深浦町大字風合瀬 に住所を有する者		1 許可の有効期間は、令和 4 年 2 月 1 日から令和 4 年 5 月 15 日までとする。 2 規則第 14 条第 1 項第 4 号の対象とする。 3 次に掲げる内容の条件を付けることがある。 (1) 集魚灯に使用する光力の総和は 12 キロワット以下とすること。 (2) 水中灯及び水銀灯を使用しないこと。 (3) 定置漁業または小型定置漁業の作業中は、その前面及び後面それぞれ 300 メートル以内、沖合 100 メートル以内の各海域で作業しないこと。 (4) 機関室の両側面を赤色ペイントで塗装し、許可番号を黒色ペイントで表示すること。 (5) 4 月 1 日から 5 月 15 日までの期間においては、次のア、イ、ウ、エ及びアの各点を順次に結んだ 4 直線によって囲まれた海域で作業してはならない。 ア 北緯 40 度 31 分 85、東経 139 度 28 分 23 イ 北緯 40 度 31 分 60、東経 139 度 28 分 23 ウ 北緯 40 度 31 分 60、東経 139 度 28 分 77 エ 北緯 40 度 31 分 85、東経 139 度 28 分 77
	5 隻		青森県日本海沖合海域。ただし、西共第 11 号及び第 12 号共同漁業権漁場の区域以外の共同漁業権漁場の区域を除く。				1 許可の有効期間は、令和 4 年 2 月 1 日から令和 4 年 5 月 31 日までとする。 2 規則第 14 条第 1 項第 4 号の対象とする。 3 次に掲げる内容の条件を付けることがある。 (1) 集魚灯に使用する光力の総和は 12 キロワット以下とすること。 (2) 水中灯及び水銀灯を使用しないこと。 (3) 定置漁業または小型定置漁業の作業中は、その前面及び後面それぞれ 300 メートル以内、沖合 100 メートル以内の各海域で作業しないこと。 (4) 機関室の両側面を赤色ペイントで塗装し、許可番号を黒色ペイントで表示すること。

	3隻			<p>西共第5号及び第6号並びに久共第1号及び第2号共同漁業権漁場の区域以外の共同漁業権漁場の区域を除いた青森県日本海沖合海域。ただし、西共第5号及び第6号共同漁業権漁場の区域においては、基点1、点ア、イ、ウ、エ、オ、カ及び基点2の各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた区域を除く。</p> <p>基点1 西津軽郡深浦町大字月屋と大字横磯との境に設置した標柱</p> <p>基点2 旧西津軽郡岩崎村と深浦町との境に設置した標柱</p> <p>点ア 基点1から磁針方位313度150メートルの点</p> <p>点イ のり島西側突端</p> <p>点ウ トド島西側突端</p> <p>点エ 上吾妻突端</p> <p>点オ 椿山突端</p> <p>点カ 基点2から磁針方位255度150メートルの点</p>	2月1日から5月31日まで	西津軽郡深浦町大字舩作又は大字月屋に住所を有する者		<p>1 許可の有効期間は、令和4年2月1日から令和4年5月31日までとする。</p> <p>2 規則第14条第1項第4号の対象とする。</p> <p>3 次に掲げる内容の条件を付けることがある。</p> <p>(1) 集魚灯に使用する光力の総和は12キロワット以下とすること。</p> <p>(2) 水中灯及び水銀灯を使用しないこと。</p> <p>(3) 定置漁業または小型定置漁業の操業中は、その前面及び後面それぞれ300メートル以内、沖合100メートル以内の各海域で操業しないこと。</p> <p>(4) 機関室の両側面を赤色ペイントで塗装し、許可番号を黒色ペイントで表示すること。</p> <p>(5) 4月1日から5月31日までの期間においては、次のア、イ、ウ、エ及びアの各点を順次に結んだ4直線によって囲まれた海域で操業してはならない。</p> <p>ア 北緯40度31分85、東経139度28分23</p> <p>イ 北緯40度31分60、東経139度28分23</p> <p>ウ 北緯40度31分60、東経139度28分77</p> <p>エ 北緯40度31分85、東経139度28分77</p>
	5隻			<p>西共第5号及び第6号共同漁業権漁場の区域以外の共同漁業権漁場の区域を除いた青森県日本海沖合海域。ただし、西共第5号及び第6号共同漁業権漁場の区域においては、基点1、点ア、イ、ウ、エ、オ、カ及び基点2の各点を順次に結んだ直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた区域を除く。</p> <p>基点1 西津軽郡深浦町大字月屋と大字横磯との境に設置した標柱</p> <p>基点2 旧西津軽郡岩崎村と深浦町との境に設置した標柱</p> <p>点ア 基点1から磁針方位313度150メートルの点</p> <p>点イ のり島西側突端</p> <p>点ウ トド島西側突端</p> <p>点エ 上吾妻突端</p> <p>点オ 椿山突端</p> <p>点カ 基点2から磁針方位255度150メートルの点</p>				<p>1 許可の有効期間は、令和4年2月1日から令和4年5月31日までとする。</p> <p>2 規則第14条第1項第4号の対象とする。</p> <p>3 次に掲げる内容の条件を付けることがある。</p> <p>(1) 集魚灯に使用する光力の総和は12キロワット以下とすること。</p> <p>(2) 水中灯及び水銀灯を使用しないこと。</p> <p>(3) 定置漁業または小型定置漁業の操業中は、その前面及び後面それぞれ300メートル以内、沖合100メートル以内の各海域で操業しないこと。</p> <p>(4) 機関室の両側面を赤色ペイントで塗装し、許可番号を黒色ペイントで表示すること。</p>

	2隻		<p>青森県日本海沖合海域。ただし、西共第3号及び第4号並びに久共第1号及び第2号共同漁業権漁場の区域以外の共同漁業権漁場の区域を除く。</p>		<p>西津軽郡深浦町大字岩崎に住所を有する者</p>		<p>1 許可の有効期間は、令和4年2月1日から令和4年5月31日までとする。</p> <p>2 規則第14条第1項第4号の対象とする。</p> <p>3 次に掲げる内容の条件を付けることがある。</p> <p>(1) 集魚灯に使用する光力の総和は12キロワット以下とすること。</p> <p>(2) 水中灯及び水銀灯を使用しないこと。</p> <p>(3) 定置漁業または小型定置漁業の作業中は、その前面及び後面それぞれ300メートル以内、沖合100メートル以内の各海域で作業しないこと。</p> <p>(4) 機関室の両側面を赤色ペイントで塗装し、許可番号を黒色ペイントで表示すること。</p> <p>(5) 4月1日から5月31日までの期間においては、次のア、イ、ウ、エ及びアの各点を順次に結んだ4直線によって囲まれた海域で作業してはならない。</p> <p>ア 北緯40度31分85、東経139度28分23</p> <p>イ 北緯40度31分60、東経139度28分23</p> <p>ウ 北緯40度31分60、東経139度28分77</p> <p>エ 北緯40度31分85、東経139度28分77</p>
--	----	--	--	--	----------------------------	--	---